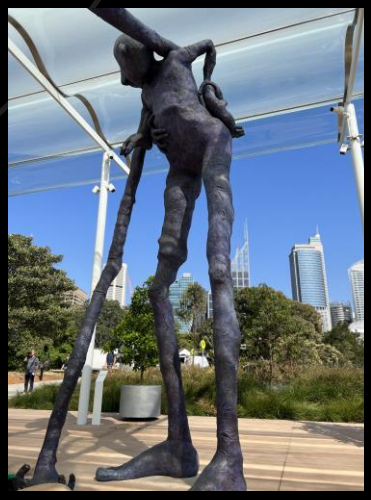
2023 シドニー研修レポート

田中ひろみ

ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館

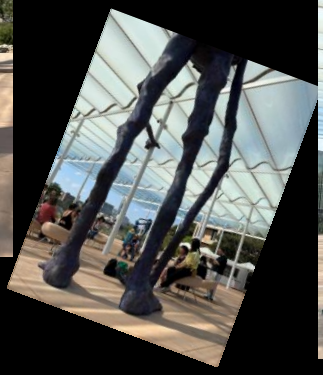
AGNSW 本館の北側に建てられた新館で、プリツカー賞の受賞建築家ユニット・妹島和世＋西沢立衛／SANAA が建築設計を担当した新美術館になります。

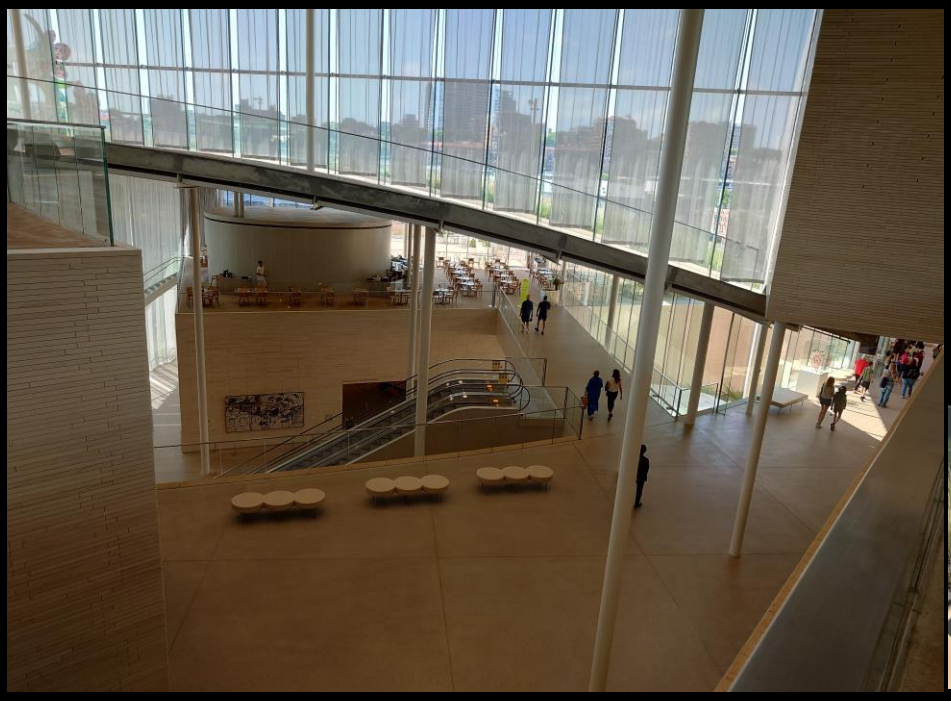
ここシドニーで、日本人建築家の作品に出合えるとは思っても無く少し胸が高鳴ります。

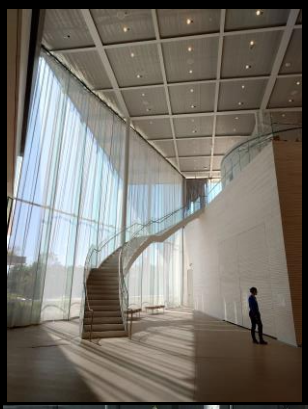


まず、ニュージランド出身のアーティスト、フランシス・アプリッチャードによる 3 体の巨大な作品が出迎えてくれました。

互いに支え合う生物をかたどり、人間の共存や多様性を謳っているこの巨大な作品と、自然の光が入り込み、明るく開放的な空間は、新館内部への期待を更に高めてくれました。



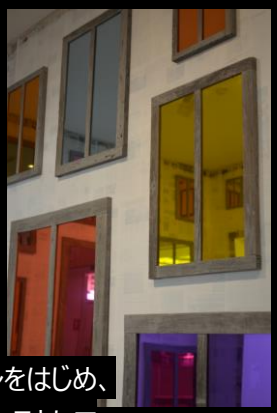




新館はまさにオーガニックな建築で、自然の光や流れる様な空間を創造し、床から天井まで
ガラス張りの窓が多く開放感があり、また動線はあらゆる方向に開かれ各展示室に繋がる。
傾斜地を上手く利用した動線づくりでした。

また、屋外テラスでは草間彌生の花々の作品　<Flowers that Bloom in the Cosmos>
トレードマークのドット柄が目に飛びみ見た瞬間に「可愛い」と声をあげたくなる作品。
オーガニックな建築にふさわしく、すべて曲線から成している作品でした。

【その他の展示作品】



「アート・パビリオン」と呼ばれる 3 つのメインをはじめ、
館内には、カフェ・レストランや多目的スペースとして
機能する複数のパビリオンが配置されている。